

家庭教育支援（文部科学省）

「家庭教育」とは家庭内で行われる教育行為

発達段階・年齢等に応じ、自らの資質向上のために継続的に学習するという「生涯学習」の一つであり、例えば親が子供に対して行う「躾」などがあり、**親や保護者が子供に対して施すものである。**



「**家庭教育支援**」とは、それを支援することであり、その対象は親（保護者）でになる。子育て＝自分育て＝**親自身の学びを支援すること**・・・つまり、子供とその親を対象とした**体験学習の機会提供、「親の学び」の提供、公民館・福祉施設で行われる家庭教育学級等**をさす。

子育て支援（厚生労働省）

児童福祉・厚生分野が行う「子育て支援」は主に乳幼児をもつ保護者を対象としている

いじめ、引きこもりなど問題を抱える子どもへの支援や虐待から子どもを保護する子育て支援など、**子供に対する直接的な支援**が行われている。



子育て家庭への支援、子育てと仕事の両立支援、援助を要する子供たちへの支援をすること・・・つまり、**親が子供を育てるために必要な資金や教育能力を行政等社会全体で財政的・教育的・福祉的に支援すること**をいい、児童手当、育児休暇、公民館・福祉施設で行われる乳幼児学級等をさす。

○教育分野

- ①家庭教育や子供の健全育成 ②予防を担う教育
③家庭教育支援 ④自立 ⑤親の学び、成人教育

重要

○保健福祉分野

- ①子供の安全対策 ②子育て支援 ③保護
④子供への直接的支援

責任の曖昧さを「連携」で片付けてないか？

連携

連携ができた例はあるの？

誰が連携を促すの？

- 対象 乳幼児期の子供やその親（保護者）への支援。小・中・高等学校の親（保護者）への家庭教育支援（PTA）
- 場 保健福祉部局主管施設、子育てセンター、児童館、公民館、社会教育施設、学校等（**学校運営協議会**）
- 人 県主催子育てサポーター・サポーターリーダー養成講座・ファシリテーター研修等修了者
- 事業 **【市町村】** 子供をもつ親対象の子育て支援授業、幼・保・小・中高等学校等の保護者
【県】 幼・保・小・中・高等学校等での保護者・10代の子供対象の家庭教育出前事業

子育ての
不安や悩み

家庭教育に困難を
抱えた家庭の増加

孤立化による
児童虐待リスク

三世代家庭の減少
ひとり親世帯の増加

つながりにくい家庭
届きにくい層

地域における
つながりの希薄化

近年は保護者のライフスタイルの変化にともない、参加型の家庭教育支援(家庭教育学級・家庭教育講座・子育てサロン・親子体験学習等)に関する課題が指摘されるようになってきた。 🙌 **学びの場の提供の危機**

仕事が忙しいので
時間がとづらい

子育ての悩みや相談を直接
相談できる人が身近にいない

保護者のニーズの変化

他地域からの転入者なので
地域の人とつながりがない

コミュニケーションがSNS中心
で直接話すのは苦手

課題

- 参加型の支援だけでは保護者のニーズとうまくマッチングしないことが多い。
- 行政(学校)が学びの場を提供しても意識の高い保護者しか集まらない。
- 本当に来てほしいのは意識の低い保護者。

参加型の限界はこれまでもあったが

参加しなくても意識が高まる手立てはないか？

参加型の家庭教育支援がうまくマッチしない保護者には訪問型家庭教育支援が効果的

訪問型が困難な場合は？

訪問型家庭教育支援

支援員が家庭訪問することで信頼関係を構築

訪問時に家庭教育支援の情報提供
関係機関への橋渡し

どの程度成立しているの？

参加型の家庭教育支援

セミナータイプやサロントップへの参加

地域や子育てコミュニティで交流、主体的に家庭教育学級の学びに参加

子育て経験者と支援する側にまわる（循環型支援）

求める姿は参加することか？ 小さな変化か？

～訪問型家庭教育支援の特徴～

- 忙しい保護者にとって時間や場所等の都合がよい
- 保護者の悩みや相談に直接耳を傾けることができる
- 保護者が話しやすい環境になる
- 支援員と保護者が信頼関係を築きやすい
- 支援員が家庭の状況や課題を把握することができる
- 保護者のニーズに合わせた学習機会の情報が行きやすい
- 保護者のニーズに合わせて専門機関へ橋渡しすることができる

課題は？

現代の行政支援では学びの場に参加してもらう前提段階として「来てくれないから行ってあげる」というおせっかいが必要。だから・・
訪問型（アウトリーチ型）の家庭教育支援の充実が求められている。

誰が行くの？

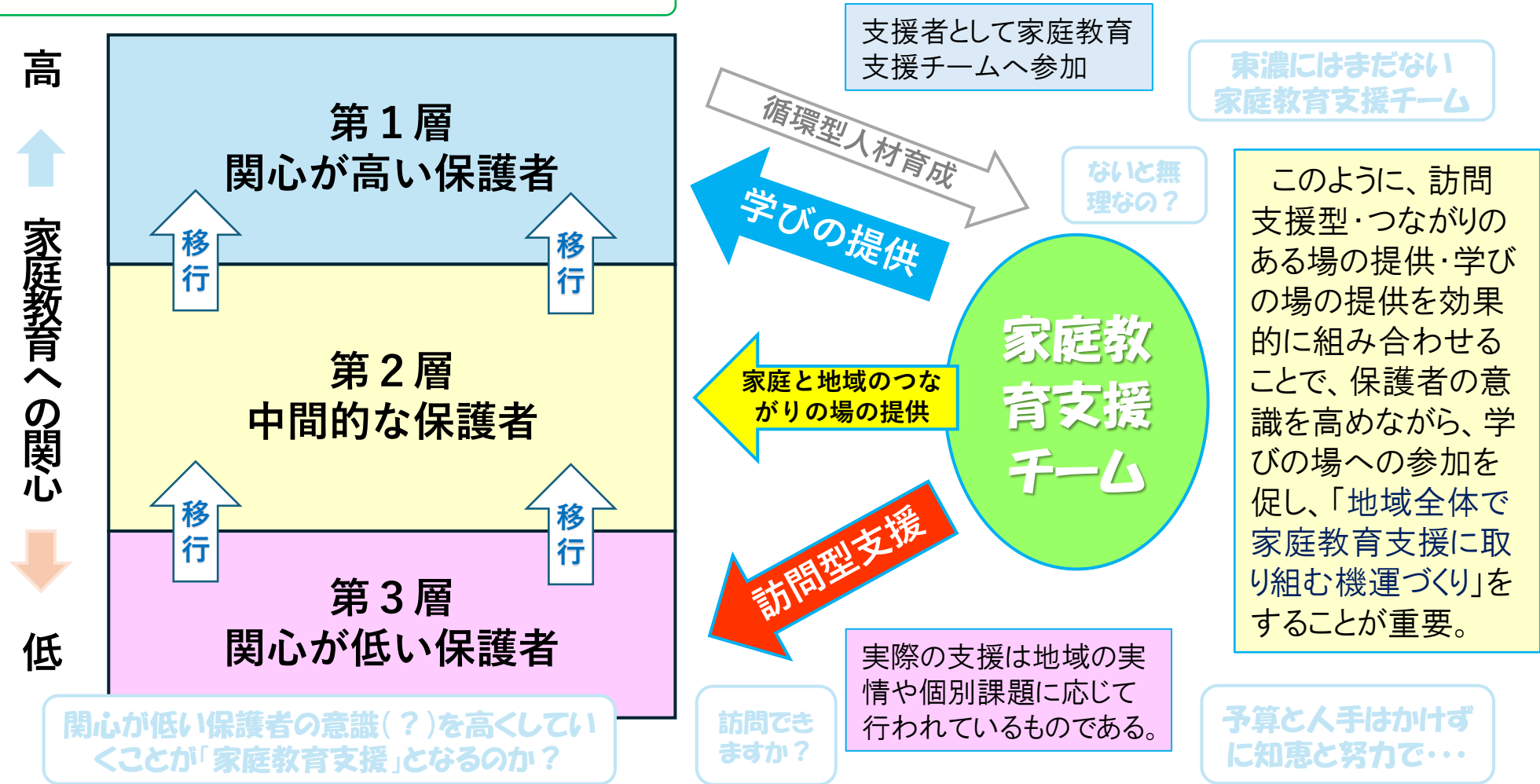
地域資源を活用し、訪問型も含めた様々な支援を包括的に行う必要がある。

「家庭教育支援チーム」を中心とした新しい支援モデルが必要である。

瑞浪市は？

参加型での成果が求められる一方で、プリントを配付して（フッシュ型？）啓発することもある

家庭教育支援の支援モデルイメージ



※関心が低い保護者に対して「訪問型支援」(困難)以外の「瑞浪市型」の手立てはないか？
「必要な保護者が来てくれないもん…」を解消できるような提言をつくってみたい。 K